

令和3年度

登米市水道事業会計当初予算の概要

	ページ
1. 令和3年度水道事業の主要事業並びに予算について	3
2. 資本的支出財源内訳	11

宮城県登米市

1. 令和3年度水道事業の主要事業並びに予算について

1 概 要

令和3年度は、将来にわたって登米市水道事業が安定して安全な水道水を供給するため、基幹浄水場である保呂羽浄水場の再構築や老朽化した基幹管路の耐震化などを計画的に進め、将来を見据えた水道施設統廃合計画の策定や水道事業経営戦略の改定に取り組み、水道事業の基盤強化に努めます。

2 業務の予定量（予算第2条）

(1) 件数、水量

列	項 目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
1	給水件数	件	30,200	30,100	30,000	△ 100
2	配水量	m ³	8,941,700	8,683,200	8,565,900	△ 117,300
3	有効水量	m ³	8,377,200	8,232,700	8,115,400	△ 117,300
4	有効率（3列÷2列）	%	93.7	94.8	94.7	△ 0.1
5	有収水量	m ³	7,779,100	7,641,700	7,566,900	△ 74,800
6	有収率（5列÷2列）	%	87.0	88.0	88.3	0.3
7	無収水量	m ³	598,100	591,000	548,500	△ 42,500
8	無収率（7列÷2列）	%	6.7	6.8	6.4	△ 0.4
9	無効水量	m ³	564,500	450,500	450,500	0
10	無効率（9列÷2列）	%	6.3	5.2	5.3	0.1

(2) 主な建設改良事業

列	項 目	単位	令和元年度	令和２年度	令和３年度	前年度比較
11	取水施設整備事業	千円	66,059	6,160	20,460	14,300
12	浄水施設整備事業	千円	105,721	40,370	57,420	17,050
13	配給水施設整備事業	千円	1,309,798	1,165,720	1,163,640	△ 2,080
14	計	千円	1,481,578	1,212,250	1,241,520	29,270

※ 詳細は「８ 主な建設改良工事」参照

3 収支の状況（予算第３条・第４条）

(1) 予算規模 ＝ 35 億 8,219 万 8 千円

＝ 収益的支出（水道事業費用）－減価償却費＋資本的支出

列	項 目	単位	令和元年度	令和２年度	令和３年度	前年度比較
15	予算規模	千円	4,047,610	3,451,898	3,582,198	130,300
16	収益的支出	千円	2,690,541	2,658,161	2,702,923	44,762
17	減価償却費	千円	1,131,737	1,154,899	1,163,813	8,914
18	資本的支出	千円	2,488,806	1,948,636	2,043,088	94,452

(2) 水道事業収益は前年度比 5,363 万円減の 25 億 9,452 万円、水道事業費用は前年度比 4,476 万円増の 27 億 292 万円です。

資本的収入は前年度比 5,073 万円増の 9 億 6,542 万円、資本的支出は前年度比 9,445 万円増の 20 億 4,309 万円です。

(3) 令和３年度給水収益（水道料金）

給水収益は、近年の実績を基に増減率を乗じて算定しました。

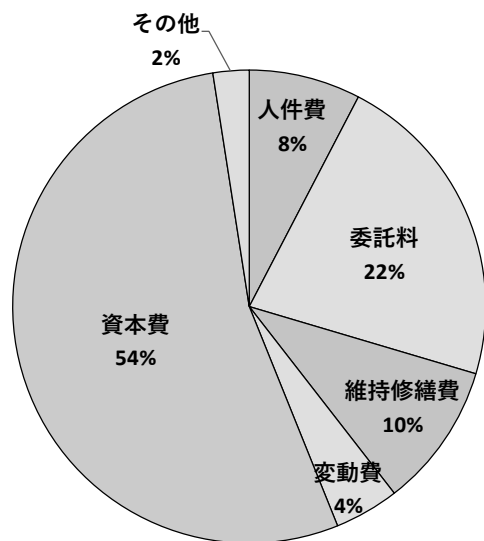
近年は、給水人口の減少、節水器具の普及や社会経済情勢の影響で、使用水量は減少傾向にあります。東日本大震災以降、増え続けた給水件数も減少傾向にあります。

調定水量は前年度より 72,600 m³少ない 7,514,000 m³とし、給水収益は 550 万円減の 22 億 3,850 万円です。

(4) 水道事業費用の性質別分析（損益計算）

列	項 目	単位	令和元年度	令和２年度	令和３年度	前年度比較
19	人件費	千円	193,625	165,136	196,811	31,675
20	委託料	千円	503,617	527,557	565,927	38,370
21	維持修繕費	千円	267,316	235,909	255,610	19,701
22	変動費	千円	185,248	141,043	113,450	△ 27,593
23	資本費	千円	1,389,806	1,401,111	1,382,995	△ 18,116
24	その他	千円	68,722	65,563	63,542	△ 2,021
25	計	千円	2,608,334	2,536,319	2,578,335	42,016

令和３年度予算性質別費用の内訳（損益計算）



性質別費用分析では、資本費（減価償却費、除却費、支払利息）が全体の 54% を占めています。また、人件費は 8 %、委託料が 22% を占め業務の遂行にあたる人的費用が全体の 30% となっています。また維持修繕費は 10% となっています。変動費は動力費で水道水を作るための直接的経費です。水需要の変動に関わらない費用（固定的経費）がほとんどを占めています。

4 債務負担行為（予算第5条）

(1) 保呂羽浄水場再構築事業に伴う事業者選定支援業務の概要

① 事業目的

将来にわたり安全な水道水を安定的に提供するため、登米市水道事業経営戦略に基づき、保呂羽浄水場再構築事業に取り組んでいるところである。事業者選定にあたり、実施方針の作成から契約までの事業者選定に係る支援業務を委託するもの。

② 事業概要

ア 入札手続きまでに必要な業務

実施方針（案）の作成支援（事業概要、募集・選定事項、スケジュール、責任分担の明確化）

イ 入札説明書等に関する業務

入札説明書等（入札説明書、要求水準書、落札者決定基準、様式集、事業契約書（案）、基本協定書（案））の作成支援

ウ 審査支援に関する業務

事業者の提案書の要求事項の確認、提案事項のシミュレーションを実施し費用対効果の実施

エ 契約協議に関する業務

- ・事業者との契約締結に向けた協議支援
- ・基本協定書(案)及び事業契約書（案）の作成、並びにそれらの締結実施に際して、内容精査の実施。

③ 事業期間 令和3年6月～令和5年2月まで

④ 事業の推進計画

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 ～10年度	令和11年度
事業者選定支援 (今回業務)	今回業務 事業契約				供用開始 令和11年 10月
保呂羽浄水場更新事業			詳細設計	工 事	

- ③ 事業費 32,560 千円
- 令和3年度 10,340 千円
- 令和4年度 22,220 千円（債務負担行為）

(2) 水道料金等検討業務の概要

① 事業目的

水道事業は、企業会計原則に基づき独立採算方式で行われるものであり、事業運営の健全性・安全性には、適切な料金収入の確保が不可欠である。人口減少等に伴う料金収入の減少や、老朽化した施設の更新に多大な費用を要する中、財政基盤の強化を図るため、料金水準及び料金体系等を見直し、適切な料金のあり方について検討を行うため、検討に係る支援業務を委託するもの。

② 事業概要

ア 料金等の検討支援

- ・ 経営及び料金の現状と課題の分析
- ・ 財政見通しの検討
- ・ 料金水準及び料金体系ケースの比較、検討
- ・ 将来計画案の作成

イ 水道料金等あり方検討委員会の運営補助

③ 事業期間 令和3年4月～令和4年9月まで

④ 事業推進計画

項目	令和3年度	令和4年度
料金等検討業務委託		
経営及び料金の現状と課題の分析		
財政見通しの検討		
料金水準及び料金体系ケースの比較、検討		
将来計画案の策定		
まとめ・報告書作成		
水道料金等あり方検討委員会		

⑤ 事業費

8,184 千円

令和3年度 6,325 千円

令和4年度 1,859 千円（債務負担行為）

5 企業債（予算第6条）

列	項 目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
26	取水施設整備事業	千円	38,300	3,600	12,100	8,500
27	浄水施設整備事業	千円	62,900	23,700	34,200	10,500
28	配水管整備事業	千円	362,100	284,000	281,600	△ 2,400
29	管路緊急改善事業	千円	242,200	191,000	191,000	0
30	計	千円	705,500	502,300	518,900	16,600

6 職員給与費（予算第8条）

(1) 職員数 ： 令和3年度は、前年度同様26名体制とする。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
① 決算値		29名	27名	26名	26名（予算値）
うち	② 正規職員	27名	26名	25名	25名
	③ 再任用職員	2名	1名	1名	1名

※ 4月1日現在の状況

(2) 職員給与費 ： 2億3,781万9千円

列	項 目		単位	損益勘定	資本勘定	合 計	備考
31	特別職	人 数	人	12		12	・ 上下水道事業運営審議会
32		報 酬	千円	146		146	
33	一般職	人 数	人	21	5	26	・ 手当には、賞与等引当金繰入額及び退職手当組合負担金を含む
34		給 料	千円	86,723	19,863	106,586	
35		手 当	千円	82,204	14,521	96,725	
36		法定福利費	千円	27,903	6,459	34,362	
37		一般職 計	千円	196,830	40,843	237,673	
38	給与費合計		千円	196,976	40,843	237,819	

7 一般会計からの繰入（予算第9条ほか）

(1) 繰入金明細

列	項 目	単位	A 負担金	B 補助金	C 出資金	D 合 計
39	消火栓等に要する経費の繰入	千円	26,200			26,200
40	児童手当に要する経費の繰入	千円	2,136			2,136
41	小規模水道施設維持管理に要する経費の繰入	千円		3,870		3,870
42	統合簡易水道（東和）経費の繰入・出資	千円		1,225	6,147	7,372
43	統合簡易水道（石越）経費の繰入・出資	千円		3,320	23,856	27,176
44	統合簡易水道（横山）経費の繰入・出資	千円		2,974	17,220	20,194
45	管路緊急改善事業の出資	千円			127,800	127,800
46	計	千円	28,336	11,389	175,023	214,748

(2) 繰入金の推移

列	事 業 名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
47	水道事業	千円	148,420	210,976	214,748	3,772

8 主な建設改良工事

No.	事業名	目的	主な事業概要	金額	年次
1	取水施設整備事業	給水（取水）の安定を確保	・下り松取水塔排砂ポンプ更新 ・下り松取水塔油分濃度計更新	2,046 万円	R3
2	浄水施設整備事業	浄水処理と水質管理の安定	・保呂羽浄水場ろ過設備コントロールセンター盤、色濁度計更新 ・石越浄水場No.1・2 ろ過池電磁弁箱更新 ・大萱沢浄水場浄水池水位計更新 ・大綱木、合ノ木浄水場膜モジュール更新	5,742 万円	R3
3	配水管整備事業	安定給水の確保と災害対策	・給水申し込み等による布設工事 ・老朽管更新等による布設替工事 ・他事業工事等による移設工事	5 億 1,919 万円	R3
4	水道管路緊急改善事業	安定給水の確保と災害対策	・老朽化した基幹管路をダクタイル鋳鉄管（耐震管）に更新し、安定給水を確保する DCIP φ700・250 L=1,275m （国庫補助率 1／3）	5 億 5,000 万円	H29-R10
5	機器整備事業	配給水施設の安定した運転管理等	・水道メーターの更新 ・下羽沢増圧ポンプ場水位調整弁更新 ・馬の足加圧ポンプ場、稲村加圧ポンプ場ポンプ及び制御盤更新 ・前田沢配水池、石貝配水池水位計更新 ・米谷第2配水池平倉送水管配水流量計設置	5,115 万円	R3

2. 資本的支出財源内訳

単位：千円

列	事業名 (事業詳細)	令和2年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	左の財源内訳						
				A 企業債	B 負担金	C 補償金	D 補助金	E 出資金	F 加入金	G 留保資金
1	資本的支出	1,948,636	2,043,088	518,900	28,166	51,183	183,333	175,023	8,811	1,077,672
2	建設改良費	1,214,853	1,241,520	518,900	28,166	51,183	183,333	127,800	0	332,138
3	取水・浄水施設整備費	46,530	77,880	46,300	0	0	0	0	0	31,580
4	(1) 取水施設整備事業費	6,160	20,460	12,100	0	0	0	0	0	8,360
5	①機器整備費	6,160	20,460	12,100						8,360
6	(2) 浄水施設整備事業費	40,370	57,420	34,200	0	0	0	0	0	23,220
7	②機器整備費	40,370	57,420	34,200						23,220
8	配給水施設整備費	1,165,720	1,163,640	472,600	28,166	51,183	183,333	127,800	0	300,558
9	(1) 配水管整備事業費	522,830	553,069	281,600	28,166	51,183	0	0	0	192,120
10	①配水管布設	91,960	73,524	37,600	9,763					26,161
11	②配水管布設替	255,090	275,253	153,100	18,403					103,750
12	③配水管移設	161,480	170,412	70,800		51,183				48,429
13	④機器整備費	14,300	33,880	20,100						13,780
14	(2) 水道メーター整備費	16,500	17,268							17,268
15	(3) 管路緊急改善事業	550,000	550,000	191,000			183,333	127,800		47,867
16	(4) 事務費(職員給与費)	44,102	40,843							40,843
17	(5) 事務費(その他)	1,288	1,360							1,360
18	(6) 資産購入費	31,000	0							0
19	(7) 共同施行負担金	0	1,100							1,100
20	消防施設整備費	2,603	0	0	0	0	0	0	0	0
21	(1) 消防施設設備工事	2,603	0							0
22	企業債償還金	733,783	801,568	0	0	0	0	47,223	8,811	745,534
23	通常	733,783	801,568					47,223	8,811	745,534

配水管布設替事業

No.	施 工 場 所	事 業 概 要		備 考
1	東和町米谷字相川地内	P P φ 50mm	L = 660m	漏水多発路線解消 (既設管VP φ 50mm)
2	東和町米谷字平倉地内	P P φ 50mm	L = 600m	漏水多発路線解消 (既設管VP φ 50mm)
3	石越町東郷字上新田地内	P P φ 50mm	L = 830m	漏水多発路線解消 (既設管VP φ 50mm)
4	登米町寺池目子待井地内	P P φ 50mm	L = 370m	管網整備 (既設管PP φ 40mm一層管)
5	中田町上沼字大泉地内	DCIP-GX φ 75mm	L = 450m	管網整備 (既設管PP φ 30mm)
6	迫町新田字狼ノ欠地内	DCIP-GX φ 100mm	L = 130m	民地内解消 (既設管VP φ 25mm)
7	迫町森字平柳地内	P P φ 30mm	L = 70m	民地内解消 (既設管VP φ 20mm)
8	豊里町川前地内	舗装復旧	A = 1,260㎡	R2年度施工分
9	中田町宝江新井田字下道地内	舗装復旧	A = 2,180㎡	R2年度施工分
10	中田町宝江黒沼字十文字地内	舗装復旧	A = 740㎡	R2年度施工分
11	中田町石森字蓬田地内	舗装復旧	A = 410㎡	R2年度施工分
12	中田町石森字八反目地内	舗装復旧	A = 920㎡	R2年度施工分
13	南方町峯地内	舗装復旧	A = 4,000㎡	R2年度施工分
14	登米町寺池前船橋地内	舗装復旧	A = 1,750㎡	R2年度施工分
15	南方町南切津地内	舗装復旧	A = 430㎡	R2年度施工分
16	東和町米谷字中渡戸地内	舗装復旧	A = 1,570㎡	R2年度施工分
計		2 7 5 , 2 5 3 千円		延長 L = 3,110m 舗装 A = 13,260㎡

令和3年度
上下水道部事業計画箇所図

取水施設整備事業

No.	施 工 場 所	事 業 概 要		備 考
1	登米町寺池道場地内 (下り松取水塔)	排砂ポンプ更新	ポンプ 1 台	経年劣化
2		油分濃度計更新	濃度計 1 台	経年劣化
計		2 0 , 4 6 0 千円		

浄水施設整備事業

No.	施 工 場 所	事 業 概 要		備 考
1	登米町寺池道場地内 (保呂羽浄水場)	ろ過設備コントロールセンター盤更新	制御盤1式	経年劣化
2		色濁度計更新	色濁度計1台	経年劣化
3	石越町南郷字高森地内 (石越浄水場)	No.1・2ろ過池電磁弁箱更新	電磁弁1式	経年劣化
4	津山町横山字大萱沢地内 (大萱沢浄水場)	浄水池水位計更新	水位計1台	経年劣化
5	東和町米川字合ノ木地内 (合ノ木浄水場)	膜モジュール更新	膜モジュール2本	経年劣化
6	東和町米川字大綱木地内 (大綱木浄水場)	膜モジュール更新	膜モジュール2本	経年劣化
計		5 7 , 4 2 0 千円		

管路緊急改善事業

No.	施 工 場 所	事 業 概 要		備 考
1	登米町金沢山地内	DCIP-NS φ 700mm	L = 780m	40年以上の経年管更新 (既設DCIP-K φ 700mm)
2	登米町寺池鉄砲町地内	DCIP-NS φ 600～700mm	L = 830m	40年以上の経年管更新 (既設DCIP-K φ 600mm～700mm)
3	南方町新島前地内	DCIP-GX φ 250mm	L = 345m	40年以上の経年管更新 (既設DCIP-A φ 250mm)
4	登米町寺池三日町地内	SP φ 200mm	L = 310m	40年以上の経年管更新 (既設SP φ 200mm)
5	南方町新青島前地内	DCIP-GX φ 250mm	L = 50m	40年以上の経年管更新 (既設DCIP-A φ 250mm水管橋)
6	南方町板倉地内	舗装復旧	A = 10, 610㎡	R2年度施工分
7	南方町新須崎前地内	舗装復旧	A = 2, 750㎡	R2年度施工分
8	米山町字善王寺森ノ腰～上沼地内	舗装復旧	A = 470㎡	R2年度施工分
9	登米町寺池金沢山地内	用地買収	A = 210㎡	水道1号線布設箇所
10	中田町石森字駒牽地内	DCIP-GX φ 250mm	L = 100m	40年以上の経年管更新 (既設DCIP-A φ 250mm)
計		5 5 0 , 0 0 0 千円		延長 L = 2, 415m 舗装 A = 14, 040㎡

配水管布設事業

No.	施 工 場 所	事 業 概 要		備 考
1	登米町大字日根牛小川向地内	DCIP-GX φ 200mm外	L = 550m	管網整備
2	南方町宿畑地内	DCIP-GX φ 75mm	L = 40m	給水申込みによる布設
3	迫町北方字舟橋地内	P P φ 50mm	L = 120m	給水申込みによる布設
4	迫町佐沼字大綱地内	P P φ 50mm	L = 100m	給水申込みによる布設
5	豊里町内町浦地内	P P φ 50mm	L = 30m	給水申込みによる布設
6	迫町北方字日向前地内	P P φ 30mm	L = 70m	給水申込みによる布設
7	中田町石森字室木地内	舗装復旧	A = 40㎡	R2年度施工分
8	南方町新中山地内	舗装復旧	A = 100㎡	R2年度施工分
9	迫町森字平柳地内	舗装復旧	A = 600㎡	R2年度施工分
10	登米市一円	φ 100mm以下	L = 500m	給水申込みによる設計
11	石越町北郷字西門地内	DCIP-GX φ 100mm	L = 73m	管網整備
計		7 3 , 5 2 4 千円		延長 L = 1,483m 舗装 A = 740㎡

凡 例		
各境界・区域界	行政区域	
	上水道給水区域	
	専用水道	
	地表水(開発水・河川自流水)	表
水源の種類	伏流水	伏
	浅井戸	浅
	深井戸	深
	浄水場	
施設	ポンプ	
	減圧槽	
	配水池	
	導水管	
	主要配水管路	
	緊急時用連絡管	
施設	一般配水管路	

令和3年度
上下水道部事業計画箇所図

配給水施設・機器整備費

No.	施 工 場 所	事 業 概 要		備 考
1	市内一円	機器整備	水道メーター	更新
2	登米町大字日根牛中山地内 (下羽沢増圧ポンプ場)	機器整備	水位調整弁 1 台	更新 (経年劣化)
3	東和町米川字軽米地内 (馬の足加圧ポンプ場)	機器整備	加圧ポンプ 1 台 制御盤一式	更新 (経年劣化)
4	東和町米川字東綱木地内 (稲村加圧ポンプ場)	機器整備	加圧ポンプ 1 台 制御盤一式	更新 (経年劣化)
5	津山町横山字前田沢地内 (前田沢配水池)	機器整備	水位計 1 台	更新 (経年劣化)
6	津山町柳津字館石地内 (石貝配水池)	機器整備	水位計 1 台	更新 (経年劣化)
7	東和町米谷字荒谷地内 (米谷第 2 配水池 平倉送水管)	機器整備	配水流量計 1 台	新規 (監視強化)
計		5 1 , 1 4 8 千円		

配水管移設事業

No.	施 工 場 所	事 業 概 要		備 考
1	迫町佐沼字梅ノ木地内 県北高速幹線道路	DCIP-GX φ 75mm	L = 300m	県北高速幹線道路 (既設RRVP φ 75mm)
2	迫町佐沼字西館地内 国道398号	SGP φ 100mm	L = 100m	国道改良 (既設SGP φ 100mm)
3	中田町宝江黒沼字十文字地内 国道398号線	PP φ 50mm	L = 80m	国道改良 (既設VP φ 25mm)
4	迫町新田字倉崎地内 (新北谷地・菱ノ倉線)	DCIP-GX φ 200mm	L = 190m	市道改良 (既設DIP φ 200mm)
5	南方町米袋地内 (米袋線)	PP φ 30mm	L = 220m	市道改良 (既設VP φ 25mm)
6	石越町北郷字小谷地地内 (駅前・油島線)	DCIP-GX φ 100mm	L = 200m	市道改良 (既設RRVP φ 100mm)
7	中田町宝江新井田字紺谷地内 (新井田②)	PP φ 30mm	L = 190m	下水道 (既設VP φ 20mm外)
8	中田町宝江新井田地内 (中田町宝江新井田32工区)	DCIP-GX φ 100mm外	L = 875m	下水道 (既設VP φ 100mm外)
9	中田町宝江新井田地内 (中田町宝江新井田33工区)	DCIP-GX φ 75mm外	L = 420m	下水道 (既設VP φ 75mm外)
10	南方町雷地内	DCIP-GX φ 100mm外	L = 90m	下水道 (既設DCIP φ 100mm外)
計		1 7 0 , 4 1 2 千円		延長 L = 2, 665m

